

●北京京劇院● 京劇三国志

「三国志」は京劇の題材として清代末期から数多く舞台化され、名優によって演じられてきた。その伝統をたしかに受け継ぐ劇団が北京京劇院である。

現院長の石宏図は新進気鋭の演劇人で93年には中国京劇院、戦友京劇団との三団合同による「京劇三国志—赤壁の戦い」日本公演を成功させており、このたびの公演にも作品を吟味し国家一級俳優三人を含む最高のキャスティングを組んでいる。

1956年創立当時から北京京劇院の中心になったのは梨園の名家につながる俳優たち。特に武生役〈葉金援〉は名門葉家の四代目で、武将・趙雲他を華やかに演じる。

Aプログラム



趙雲

貂蟬

こ ろう かん 虎牢関 猛将呂布三度戦う

董卓征伐を目指す曹操は劉備、関羽、張飛の援軍を得た。対する董卓軍を率いるのは「三国志」ぎっての武人・呂布。愛馬・赤兔馬に跨って戦場を縦横無尽に駆け巡る。

しょう えん 小宴 呂布と貂蟬

司徒・王允は董卓の暴虐ぶりを憂え、絶世の美女・貂蟬を使った色仕掛けの計略を立てる。王家に招かれた呂布は貂蟬の色香に迷い…この宴こそ董卓殺害に至る第一歩であった。

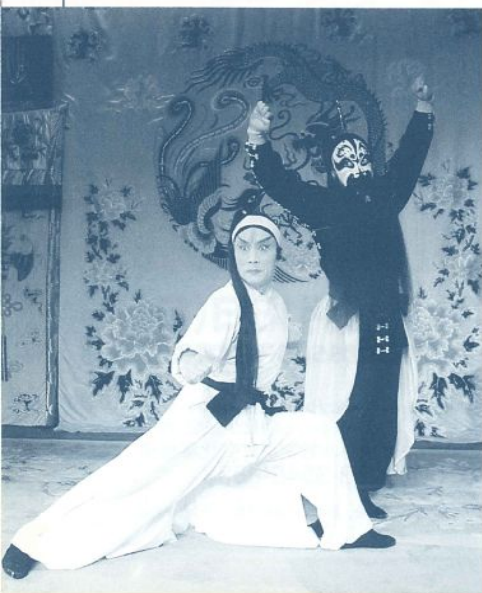
きん さ じん 金鎖陣 張飛、趙雲奮戦す!

曹操の命を受けた魏の曹仁は、劉備軍に対して「八門金鎖陣」を敷く。劉備側の軍師・徐庶はその破り方を趙雲に授け趙雲と張飛のコンビがみごと敵陣を粉碎する。

Bプログラム

ほう おう に きょう 鳳凰二喬 美人姉妹の婿選び

「江南の小霸王」の異名をとる孫策とその親友・周瑜は、呉の豪族・喬玄の二人の娘、喬観・喬婉と武芸の腕を競う。ついにはめでたく縁組になる華やぎに満ちた一幕だが、後の「赤壁の戦い」の火種となる二対の夫婦の誕生でもあった。



せん ば ちょう 戦馬超 二人の勇将

呉と魏が拮抗し、蜀の地は群雄が割拠していた。曹操軍に敗走して漢中に逃げた馬超は劉備を攻め、張飛が迎え討つ。二將軍の勝負はつかず、激戦は夜にもつれこむ。劉備は馬超の勇猛さに惚れ込み、諸葛孔明の策によって劉備の陣営にまた一人猛将が加わった。



馬超と張飛



二喬

馬超と張飛